

調査観測計画部会の活動状況

令和 4 年 3 月 1 5 日
地震調査研究推進本部
政策委員会調査観測計画部会

これまでの調査観測計画部会（部会長：平原和朗・国立大学法人京都大学名誉教授／国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合研究センター非常勤研究員）の活動状況は以下のとおりである。

1. 令和 4 年度の重点的調査対象活断層について

調査観測計画部会は、平成 26 年 8 月 27 日に策定された「地震に関する総合的な調査観測計画」に基づいて調査対象活断層を決定している。令和 4 年 2 月の第 85 回会合においては、来年度新たに実施する活断層の重点的調査観測の対象として、森本・富樫断層帯を選定することを決定した。

2. 地震・津波観測網に関する主な取組について

地震・津波観測網に係る最近の主な取組について、文部科学省より南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）の構築等について、及び、地震観測データの安定的共有のための強震観測網の回線更新について、海洋研究開発機構より、海底深部における地殻変動観測装置の整備について、消防庁より、震度情報ネットワークシステムの機能強化について、それぞれ話題提供があった。

表 最近の調査観測計画部会の開催状況

開催年月日	回	議題
令和 4 年 2 月 2 4 日	第 8 5 回	(1) 令和 4 年度重点的調査対象活断層について (2) 地震・津波観測網に関する主な取組について (3) その他